

平成22年度
学生募集案内

大学院農学研究科
(修士課程入試)



信州大学
SHINSHU UNIVERSITY

信州大学大学院農学研究科

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304

Tel (0265) 77-1310

Fax (0265) 77-1313

ホームページアドレス : <http://karamatsu.shinshu-u.ac.jp/>

1. 専攻別募集人員

専攻名	分野名	募集人員
食料生産科学専攻	生産環境管理学, 植物資源生産学 動物資源生産学, 食資源利用学	20人
森林科学専攻	山地環境保全学, 森林生産利用学 農山村環境学, 緑地環境文化学	17人
応用生命科学専攻	生物制御化学, 生物機能化学 生物資源開発学, 生物資源化学	16人
機能性食料開発学専攻	機能性食料育種学, 食料機能解析学 食料機能開発学, ※機能性食品創製学	8人

※ 機能性食品創製学分野では、本年度は募集しません。

2. 出願資格

- (1) 大学を卒業した方又は平成22年3月卒業見込みの方
- (2) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した方又は修了見込みの方
- (3) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (4) 修業年限2年の短期大学に置かれた修業年限2年の専攻科を修了した方又は平成22年3月に修了見込みの方で、学士の学位を授与された方又は授与される見込みの方
- (5) 修業年限3年の短期大学に置かれた修業年限1年の専攻科を修了した方又は平成22年3月に修了見込みの方で、学士の学位を授与された方又は授与される見込みの方
- (6) 高等専門学校に置かれた修業年限2年の専攻科を修了した方又は平成22年3月に修了見込みの方で、学士の学位を授与された方又は授与される見込みの方
- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方平成22年3月31日までに22歳に達する方
- (8) 本研究科において、大学を卒業した方と同等以上の学力があると認められた方

※ 上記(7)に該当する方は、「短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校、その他の教育機関を修了された方及び修了見込みの方」です。

3. 入学資格審査

「2. 出願資格」の(7)により出願する方は、あらかじめ下記に定める個別の入学資格審査が必要となります。

- (1) 入学資格審査申請時に提出する書類
添付の「入学資格審査出願調書」に必要事項を記入してください。
現在までの学習歴、活動歴、実務経験歴等について具体的に記入してください。
なお、これに関連する著書、論文、報告書等がある場合は添付してください。
また、資格審査結果送付用として、長形3号(12cm×23.5cm)の封筒に80円分の切手をはった返信用封筒(郵便番号、住所、氏名を明記)を提出してください。
- (2) 入学資格審査申請の受付期間等
平成21年6月29日(月)から7月3日(金)までとします。
①持参による受付は、8時30分から17時までとします。
②郵送による場合は「書留郵便」により送付してください。角形2号封筒(24cm×33cm)を用いて、封筒の表に「大学院入学資格審査申請書類在中」と朱書きしてください。
郵送の場合も7月3日(金)17時までに必着とします。
③提出先：信州大学大学院農学研究科入試事務室
- (3) 入学資格審査の結果通知
申請された方には平成21年7月24日(金)までに郵送します。

4. 出願手続

(1) 出願期間

平成21年7月27日(月)から7月31日(金)までとします。

① 持参による受付は、8時30分から17時までとします。

② 郵送による場合は「書留郵便」により送付してください。角形2号封筒(24cm×33cm)を用いて、封筒の表に「大学院入学願書在中」と朱書きしてください。

平成21年7月31日(金)までの消印があるものは受け付けます。

(2) 出願書類等提出先

信州大学大学院農学研究科入試事務室

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 Tel (0265) 77-1310

(3) 出願書類等

出願書類等	摘 要
1) 入学志願票・履歴書	この募集案内に添付の用紙を用いてください。
2) 最終学校の成績証明書	出身(在学)大学が作成し、厳封したものを提出してください。
3) 卒業証明書	在学中の方は、卒業見込み証明書(信州大学農学部卒業生及び卒業見込み者は不要)、「2. 出願資格」の(4)～(6)に該当する方においては、修了証明書又は修了見込み証明書を提出してください。
4) 学位授与に関する証明書	「2. 出願資格」の(4)～(6)に該当する方においては、学位授与証明書又は学位授与見込み証明書を提出してください。
5) 写 真	出願前3か月以内に撮影したもので、4cm×3cm(縦長)、上半身、無帽、正面向き、背景なしとしてください。(所定の場所にはってください。)
6) 入学検定料納付確認書(A票)	入学検定料30,000円をこの案内に添付する振込依頼書(C票)を使用して 金融機関から「電信扱い」で振り込んでください(振込みには別途手数料が必要です) 。なお、郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みはできません。ATM(現金自動預支払機)、携帯電話及びパソコンからの振込みは行わないでください。 振込み後、納付確認書(A票)及び領収書(B票)を受け取り、A票、B票の所定欄に金融機関の収納印があることを確認し、納付確認書(A票)を提出してください。 また、「取扱銀行収納印」欄には、平成21年7月31日までの日付の収納印があるものに限り有効となりますので、金融機関の窓口で受付時間を確認の上、振込みを行ってください。なお、この振込依頼書(C票)による振込みは、平成21年7月21日から平成21年7月31日の間に行ってください。 一度納入された入学検定料は出願書類の提出、未提出にかかわらずお返ししませんので注意してください。
7) 返信用封筒	長形3号封筒(12cm×23.5cm)に80円分の切手をはり、宛先、郵便番号を明記してください。(信州大学農学部 ^に 在学中の方は不要です。)
8) 専攻研究(卒業論文・研究)の概要	この募集案内に添付する様式1を用いて、2,000字以内で作成したものを提出してください。(卒業論文・研究を行っていない場合、志望動機及び研究の抱負を記載してください。)

5. 選抜方法

専門科目，英語及び面接（成績証明書，専攻研究の概要を含みます）の結果を総合して判定します。
配点は次のとおりです。

教科等	専門科目	英 語	面 接
配 点	100	100	100

※ 面接では，学習意欲，将来性，独創性などを総合的にみます。

6. 選抜試験

(1) 受験者集合時刻 平成21年8月19日（水）8時30分

(2) 試験日程

期 日	区 分	科 目 名	時 間
8月19日(水)	学力検査	専門科目	9時00分～10時00分
		英 語	10時30分～12時30分
	面 接		13時30分～

(3) 試験場

信州大学農学部

長野県上伊那郡南箕輪村 8304

交 通 1 中央道高速バス（新宿，名古屋又は長野発等）

「中央道伊那インター」・「伊那インター前」下車 徒歩約15分。

2 JR飯田線伊那市駅下車，伊那バスターミナル「伊那営業所」から伊那バス西箕輪線に乗り，「大学入口」下車。所要時間17分。路線バスは本数が少ないので注意してください。

※ 伊那バスホームページ <http://www.ibgr.jp/>

(4) 試験科目

A. 専門科目（志願票に記載するコードは、13. 信州大学大学院農学研究科修士課程専攻別・分野別専門科目の概要・コード表を参照してください。）

専 攻	分 野	専 門 科 目		試験科目
食料生産科学	生産環境管理学 植物資源生産学 動物資源生産学 食資源利用学	農業経営経済学 植物生産管理学 応用昆虫学 作物生態生理学 園芸資源学 ※観賞園芸学	動物栄養飼料学 動物解剖組織学 動物行動管理学 動物生理学 動物発生遺伝学 動物繁殖生理学	1科目 (志望する研究専門分野の専門科目)
森林科学	山地環境保全学 森林生産利用学 農山村環境学 緑地環境文化学	森林立地・育林学 森林環境学 森林政策学 農業工学 流域保全学 植物生態・地域保全学	森林機能・林地保全学 森林経営・計画学 木材理学 農山村計画学 造園学	1科目 (志望する研究専門分野の専門科目)
応用生命科学	生物制御化学 生物機能化学 生物資源開発学 生物資源化学	食品安全・評価学 生理活性化学 光制御化学 細胞工学 分子生物学 食品微生物工学	動物生殖学 応用きのこ学 応用真菌学 食品化学 食品生化学 食品分子工学	1科目 (志望する研究専門分野の専門科目)
機能性食料開発学	機能性食料育種学	機能性食料育種学		1科目 (志望する研究専門分野の専門科目)
	食料機能解析学	食料機能解析学		
	食料機能開発学	食料機能開発学		

※今回は募集しません。

B. 英語 辞書の使用は認めません。

C. 面接 各専攻別に行ないます。

7. 合格者発表

平成21年9月8日(火) 10時

信州大学農学部構内に掲示するとともに、合格された方に合格通知書及び入学手続に関する書類を郵送します。

なお、電話等による問い合わせには応じられません。

8. 入学手続

合格された方は、入学手続期間内に信州大学大学院農学研究科入試事務室へ必要な書類を提出し、入学料を納入してください。

この期間内に入学手続を完了しない場合は、本学への入学を辞退したものととして取扱います。

(1) 入学手続については、合格通知書の送付の際にお知らせします。

(2) 納付金(入学料・授業料)の額

入学料 282,000円

授業料 (前・後期)各267,900円 [年額535,800円]

- (注) 1. 金額は平成21年4月現在の額です。入学時及び在学中に入学料・授業料の改定が行われた場合には、改定時から新入学料・新授業料が適用されます。
2. 既納の入学料は、どのような理由があってもお返しできません。
3. 入学料・授業料の納入が著しく困難な方には、免除制度及び徴収猶予制度があります。希望される方は、入学手続書類送付時に同封される入学料免除、授業料免除等に関する書類を熟読の上、願い出てください。

9. 奨学金

希望者は、日本学生支援機構の奨学金に関する規定等により選考の上、奨学生(予約採用も含む。)に採用されます。(第一種:月額50,000円, 88,000円, 第二種:月額5万円・8万円・10万円・13万円・15万円)

10. 注意事項

- (1) 出願書類等請求の際は、返信用封筒(角形2号24cm×33cm, 140円分の切手をはったもの)を同封してください。
- (2) 「6. 選抜試験」(4)試験科目表の専攻,分野,専門科目を志願票の欄に正確に記入してください。
- (3) 出願手続後の試験科目の変更は認めません。
- (4) 志願票・受験票の「受験科目の届」欄に記入した試験科目以外では受験できません。
- (5) 出願書類に虚偽の記載があった場合は、入学を取り消します。
- (6) 受験の際は、必ず受験票を携行してください。
- (7) 官公庁,会社等に在職している方は、入学手続の際、所属長又は代表者の就学承諾書を必要とします。
- (8) 「2. 出願資格」(4)~(6)で合格した方のうち、学位授与の申請を行なわなかった場合又は学位が授与されなかった場合には、入学を取り消されることとなるので注意してください。
- (9) 出願する方は、入学後の修士論文の研究テーマ並びに所属研究室について、指導を希望する教員と面談することが望まれます。
- (10) 不明な点は、信州大学大学院農学研究科入試事務室にお問い合わせください。

11. 第2次学生募集について

第2次学生募集は、入学定員に欠員を生じた場合に実施します。

12. 障害がある方の事前相談

本研究科に入学を志願する方で、障害（別表参照）がある方は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とすることがありますので、出願の前に、下記事項を記載した書面（様式は問いません。）を提出してください。

なお、重度の障害がある方は、事前の準備を必要とする場合がありますので、できる限り早い時期に相談してください。

(1) 提出の時期 平成21年7月13日（月）まで

(2) 書面に記載する内容

- ① 志願者の氏名，住所，電話番号
- ② 出身学校名
- ③ 志願する専攻及び分野
- ④ 障害の種類・程度（現に治療中の方は，医師の診断書を添付してください。）
- ⑤ 受験上特別な配慮を希望する事項
- ⑥ 修学上特別な配慮を希望する事項
- ⑦ 出身学校でとられていた修学上特別な配慮
- ⑧ 日常生活の状況

(3) 提出先

信州大学大学院農学研究科入試事務室

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村 8304 Tel 0265-77-1310

〈別表〉

区 分	障 害 の 程 度
視覚障害者	両眼の視力がおおむね0.3未満のもの又は視力以外の視機能障害が高度のもののうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度のもの
聴覚障害者	両耳の聴力レベルがおおむね60デシベル以上のもので、補聴器等の使用によっても通常の話し声を解することが不可能又は著しく困難な程度のもの
知的障害者	1. 知的発達の遅滞があり、他人との意思疎通が困難で日常生活を営むのに頻繁に援助を必要とする程度のもの 2. 知的発達の遅滞の程度が前号に掲げる程度に達しないものうち、社会生活への適応が著しく困難なもの
肢体不自由者	1. 肢体不自由の状態が補装具の使用によっても歩行、筆記等日常生活における基本的な動作が不可能又は困難な程度のもの 2. 肢体不自由の状態が前号に掲げる程度に達しないものうち、常時の医学的観察指導を必要とする程度のもの
病弱者	1. 慢性の呼吸器疾患、腎臓疾患及び神経疾患、悪性新生物その他の疾患の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度のもの 2. 身体虚弱の状態が継続して生活規制を必要とする程度のもの

（注：学校教育法施行令第22条の3の規定に準拠しています。）

13. 信州大学大学院農学研究科修士課程専攻別・分野別専門科目の概要・コード表
 (志願票の「受験科目の届」に記入)

食料生産科学専攻 専攻コード：1

コード・分野	コード・出題専門科目	出題の範囲
11 生産環境管理学	111 農業経営経済学	農業経済学及び農業経営学に関する基礎的事項
	112 植物生産管理学	植物生産における病害, 雑草及び土壌管理に関する事項
	113 応用昆虫学	昆虫の生態一般及び害虫に関する事項
12 植物資源生産学	121 作物生態生理学	作物の栽培, 栄養, 生態生理に関する事項
	122 園芸資源学	園芸作物の育種と栽培に関する事項
	123 ※観賞園芸学	観賞植物の生産と利用, 環境園芸に関する事項
13 動物資源生産学	131 動物栄養飼料学	動物と家畜の栄養学, 飼養学及び飼料学に関する事項
	132 動物解剖組織学	家畜解剖学及び組織学に関する事項 (電子顕微鏡組織学も含む)
	133 動物行動管理学	家畜の行動及び放牧管理に関する事項
14 食資源利用学	141 動物生理学	動物生体内における生理機能一般及び代謝・内分泌の基礎的事項
	142 動物発生遺伝学	鳥類・哺乳類の発生学及び遺伝学に関する基礎的事項
	143 動物繁殖生理学	動物の繁殖・繁殖生理とそれらの人為的統御に関する事項

※今回は募集しません。

森林科学専攻 専攻コード：2

コード・分野	コード・出題専門科目	出題の範囲
21 山地環境保全学	211 森林立地・育林学	造林学 森林生態学 森林保護学 森林土壌学
	212 森林機能・林地保全学	森林水文学 森林の公益的機能，防災林，環境林 侵食・崩壊・地すべり・土石流のメカニズムと対策 治山・治水事業
	213 森林環境学	樹木の成長と環境変動 森林と環境の相互関係 植生とその成立要因 森林史
22 森林生産利用学	221 森林経営・計画学	森林施業・計画学 森林経営・利用学 森林リモートセンシング，GIS
	222 森林政策学	山村経済，地域林業 森林組合，林業労働，国有林野論 国際林業論，木材市場の再編 森林の開発と環境
	223 木材理学	木材の組織・構造の基礎 木材の物理的性質 木材の力学的性質・構造材料としての木材
23 農山村環境学	231 農業工学	生物環境の物理 地水環境及び水資源 緑地微気象，局地気象
	232 農山村計画学	農山村の特質 農村計画 農業生産基盤整備，生活環境整備
	233 流域保全学	土砂生産・流出メカニズム 砂防基本計画，土砂災害と対策 土砂水理学，砂防事業の効果評価
24 緑地環境文化学	241 造園学	造園原論・造園史 景観計画 庭園・公園・緑地の計画と設計
	242 植物生態・地域保全学	自然保護，地域生態学 森林植物学，植物生態学 生態学，応用植物生態学

応用生命科学専攻 専攻コード：3

コード・分野	コード・出題専門科目	出題の範囲
31 生物制御化学	311 食品安全・評価学	分析化学の基礎，食品の安全性評価に関わる事項
	312 生理活性化学	有機化学と分析化学の基礎
	313 光制御化学	光化学反応初期過程と反応機構に関する事項
32 生物機能化学	321 細胞工学	植物の生化学および分子生物学に関する基礎的事項
	322 分子生物学	分子生物学・遺伝子工学に関する事項
	323 食品微生物工学	微生物学・応用微生物学・代謝生化学の基礎
33 生物資源開発学	331 動物生殖学	哺乳動物の生殖学に関する基礎的事項とその応用
	332 応用きのこ学	きのこの遺伝と生産に関する事項
	333 応用真菌学	真菌類の生理生態と資源利用に関する事項
34 生物資源化学	341 食品化学	食品中の機能性成分に関する事項
	342 食品生化学	構造生化学および機能生化学に関する事項
	343 食品分子工学	食品分子の構造，分析，生物活性に関する事項

機能性食料開発学専攻 専攻コード：4

コード・分野	コード・出題専門科目	出題の範囲
41 機能性食料育種学	411 機能性食料育種学	植物の遺伝と生殖に関する事項 植物の育種と遺伝資源に関する事項 (4題の中から2題選択)
42 食料機能解析学	421 食料機能解析学	植物の機能性食品素材に関する事項 果実・野菜の品質と機能, および関係する化学成分に関する事項 (4題の中から2題選択)
43 食料機能開発学	431 食料機能開発学	牛乳・乳製品の生物化学と食品としての機能に関する事項 食品に含まれる生理活性物質に関する事項 (4題の中から2題選択)

個人情報の利用について

信州大学における入学者選抜を通して取得した個人情報については、入学者選抜のほか次の目的のために利用します。

- ① 入学手続
- ② 学籍簿の作成
- ③ 奨学金及び授業料免除等の審査資料
- ④ 入学者選抜方法及び大学教育改善のための調査・研究

なお、調査・研究及び結果の発表に際しては、個人が特定できないように処理します。